

2019春闘交渉 収入動向

3月1日、本部は2019春闘交渉・収入動向を行いました。以下、報告します。

(営業部より説明)

1. 収入動向

▶対計画+325百万円(103, 3%)

コンテナは、積合せ貨物が専用列車の増車等により順調に推移したほか、紙・パルプ等が東北・新潟発の需要が堅調により計画を上回った。また、一般消費者向けの電気機器の販売好調な家電・情報機器、東北産民間流通米および九州産馬鈴薯が好調な農産品・青果物等で計画を上回った。一方、自動車部品は荷量減少に伴い低調に推移した。その結果、コンテナ全体では対計画+259百万円となった。車扱は、石油が軽油を中心に堅調に推移し、車扱全体では対計画+67百万円となった。コンテナ・車扱合計では、対計画+325百万円となった。

・コンテナ

積合せ貨物が専用列車の増車および山陽線開通後の回復が比較的順調となっていることから対計画+73百万円となったほか、紙パルプ等が東北・新潟発関東向けを中心に需要が堅調となっており+71百万円となった。また、家電・情報機器は一般消費者向け電気機器の販売好調に伴い+19百万円、農産品・青果物は東北産民間流通米および九州産馬鈴薯の好調に伴い+14百万円となり、計画を上回った。一方、自動車部品が輸出用の低調もあり減送となっており、△3百万円となった。その結果、コンテナ全体では+259百万円(103, 0%)となった。

- ・車扱

車扱は、石油が軽油を中心に堅調に推移し、車扱全体では対計画+67百万円（105,2%）となった。

▷対前年+464百万円（104,8%）

- ・コンテナ

積合せ貨物がドライバー不足に伴って関西・東北地区間を中心として鉄道へのシフトが進んでおり、対前年+96百万円となった。エコ関連物資は関東内建設発生土の輸送が順調に推移していることから+89百万円となったほか、農産品・青果物が東北産民間流通米および九州産馬鈴薯の好調により+24百万円となった。

一方、自動車部品は、△20百万円となった。その結果、コンテナ全体では+369百万円（104,4%）となった。

- ・車扱

車扱は、石油が軽油を中心に堅調に推移した他、運賃改定の効果などがあり、車扱全体では+95百万円（107,6%）となった。

2. 輸送量動向

今月は、東北線・日本海縦貫線等での輸送障害および山陽線本復旧工事の影響により、高速貨112本が運休となった（前年は、高速貨350本、専貨4本が運休）。コンテナは、関東地区の建設発生土や焼却灰の輸送が順調なエコ関連物資、関西・東北地区間などにおいて増送となっている積合せ貨物が好調に推移したほか、一般消費者用電子機器の販売好調に伴って家電・情報機器が前年を上回った。一方、輸出用が低調に推移している自動車部品に加え、化学工業品、化学薬品等で前年を下回った。コンテナ全体では前年比99,6%となった。

車扱は、石油が前年より若干気温が高く推移したため灯油等の需要が減少したことに加え、セメントが在庫調整により減送となった。車扱全体では前年比97,0%となった。

コンテナ・車扱の合計では、前年比98,7%となった。

（営業部）

組合・以前、社長は30年度通期見通しで、連結20億程度は確保出来ると発言していたが、見通しはどうか。さらに増えそうか。

会社・3月を計画通りに推移出来れば、連結ベースで20億の経常黒字を確保できる見込みである。

組合・7月の西日本豪雨の影響で山陽線が長期間運休となり、荷物がトラックやフェリーに逃げてしまったが、災害前を100とした場合、現在、どのくらい荷物が戻ってきたのか。

会社・1月のコンテナ輸送量の実績は、前年比99,6%だったが、昨年1月は雪害の影響が大きかったため、それを加味すると前年比は98,3%となる。ただし、九州向けは92%、九州・広島発も90%前半であり、まだ完全には回復していない。

組合・昨年10月に運賃改訂を行ったが、一昨年あたりから運送料というものが注目され、それを機に運輸業界全体で料金見直しを図っている。また、10月には消費税アップも控えており、貨物会社として、更なる運賃改訂を考えているのか。

会社・現時点、更なる運賃改定は考えていない。

組合・巷では、引っ越し難民があふれると言われているが、引っ越しの顧客獲得に向け、営業活動は鋭意に取り組んでいるか。

会社・営業としても荷物獲得に向けて努力していきたい。しかしながら、集配を行う利用運送事業者の労働力も厳しい状況である。

組合・現在、新規顧客獲得に向け、取り組んでいるものはあるのか。

会社・往復実車化や低積載列車への荷物誘致などに、引き続き取り組んでいきたい。

組合・東京レールゲートWESTが、昨年8月に着工されたが順調に進んでいるのか。来年3月竣工予定だが、すでに契約を結んでいる顧客はいるのか。

会社・平成30年12月に、ある運輸会社様に第一号となる賃貸借契約を締結して頂いた。他のお客様とも話を進めており、契約を結んで頂けるよう取り組んでいく。

組合・年度末に向け収入確保を鋭意に取り組んで頂きたい。私達は安全安定輸送に努めていく。

会社・了解した。

(ここからは総務部)

組合・人事制度見直しで、将来に不安を感じている人が多くいる。士気を上げるためにも良い回答を求める。

会社・社員が不安を頂かないよう、社員説明等しっかり行い、4月1日の制度導入をしていきたい。

組合・ロジ会社では、慢性的な要員不足になっており、このまま放置し続ければ、い

つか絶対に列車が止まる。トラックドライバー不足・西日本豪雨被害で、鉄道貨物輸送がこれまで以上に注目され、今後、荷物が増えることが予想される。現在、現場はギリギリの状態です。荷物が増えても、それを賄えるフォークリフトマンも増やさなければ、いつかパンクする。また、今春のダイヤ改正で、現場によっては睡眠時間が削られることとなり、労働条件悪化で離職に拍車をかけ、更なる要員不足を招きかねない。ロジ会社の労働条件が低いことは理解しているはずであり、グループ会社あつてのJR貨物である。列車が止まるという最悪の事態を避けるためにも、業務委託料を上げ、ロジ会社の労働条件改善を強く求める

会社・関連会社が担っている業務については十分理解している。JR貨物本体としても、関連会社に対し、要員対策や教育面での支援など引き続き行っていきたい。

組合・言葉だけではなく、目に見える形でお願いしたい。昨年は19年ぶりのベアがあり、2年続けてと期待の声が大きい。今後、優秀な人材確保のためにも、誠意ある回答を求める。

会社・社内で議論し、次回考えを提示したい。

以 上
